

2020年度（令和2年度）事業計画書

特定非営利活動法人アクティブ・ラーニング・アソシエーション

1 基本方針

4Shapes®やエマジネティクスを活用した人材育成事業を学校教育から企業研修までさらに事業拡大させるための取り組みを行う。2019年度は大手企業などでの実践例が増えたこともあり、事業拡大の可能性は大いにあると確信している。しかし、年度末のコロナ禍により集合研修の実施に制限がかかったことから、これまでと同じやり方では実践できないので今後はWEBからの動画発信などを含めたコンテンツ開発が急務とされる。

初等・中等教育事業については、学校現場への広報が不足しており周知されていないことは課題である。こちらも今後は動画配信などの活用が必要と思われる。いずれにしても、TwitterなどのSNSを効果的な活用方法にチャレンジが必要である。

以下事業毎に方針をのべる。

◆人材育成事業

エマジネティクスを活用した企業研修は実施すれば必ず高評価を得られるので、今年度はすでに活用いただいた企業へのネクストアプローチを実施する。それにより、企業コンサルへとつなぐ。4Shapes®は教育現場と起業女子（スタートアップ層）へのアプローチをさらに強化したい。教育現場では私学や大学にキャリア教育の提案をすることでアプローチすることを考えている。

◆アクティブラーニングの普及、推進事業

(ア)高校生を対象にアクティブ・ラーニング形式でのセミナーコンテンツの開発

コミュニケーション向上やライフプランを考えるプログラムについては、今年度も新規プログラムの開発ならびに改善を行う。

ノートテイキングに関するプログラムやキャリアデザインの授業もブラッシュアップを行う。

(イ)高校生を対象とした進路選択講演（進学、就職）の実施とプログラム開発

4Shapes®をからめて進路選択講演の実施と教員研修を新規の学校で実施することを目指す。

(ウ)大学生を対象としたキャリア教育プログラムの開発

引き続き大学生を対象としたプログラムの開発と広報を進める。

◆教育技術向上のための研究事業

今年度のPCカンファレンスはオンライン開催となったが、共同執筆者である早稲田大学高等学院の教員が論文の口頭発表を行う予定である。

◆ふれあい事業

幼児に対する英語教育や小学生へのプログラミング教育の実施からふれあい事業を進める。